

いつ
でも

No.2 宇治橋に義経と源平合戦 ゆかりの地を訪ねる

自然

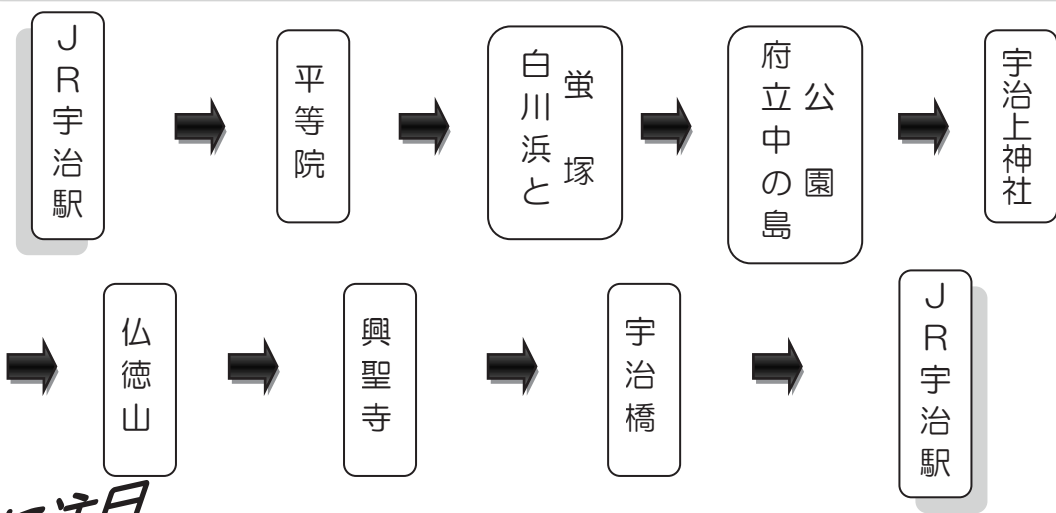
歴史

平家物語

おすすめポイント

「祇園精舎の鐘の音、諸行無常の響きあり」で始まる平清盛を中心とする平家一門の興亡を描いた「平家物語」の舞台ともなった宇治川と、そのゆかりの地を歩くコースです。

時空を超えて戦に決起する武士(モノ)たちの姿を回想しながら仏徳山(大吉山)に登り、展望台から眼下に宇治川と平等院、そして旧巨椋池跡に広がる現代の人々の営みとを重ね合わせてみると、歴史は単なる過去の出来事ではなく、ひとこまひとこまの積み重ねを経て今日があることを教えてくれるようです。



ここに注目



●扇の芝（平等院内）

以仁王を奉じて源氏旗上げの軍をおこした源三位頼政はこの地に敗れ「埋木の花咲くこともなかりしに 身のなる果てぞ かなしかりける」の一首を残してここで割腹したと伝えられる。



●宇治川先陣の碑（中の島公園内）

『頃は睦月20日余りのことなれば比良の高嶺に志賀の山昔ながらの雪も消え谷々の氷うちとけて水はおりふしまさりたり』寿永3年木曾義仲を討つため源義経に加わった佐々木高綱、梶原景季それぞれイケズキ、スルスミに跨り先陣を競ったという故事に因んだ石碑。

